

参考資料1 特に厳しい環境に置かれた子どもたちへの支援策の抜本強化

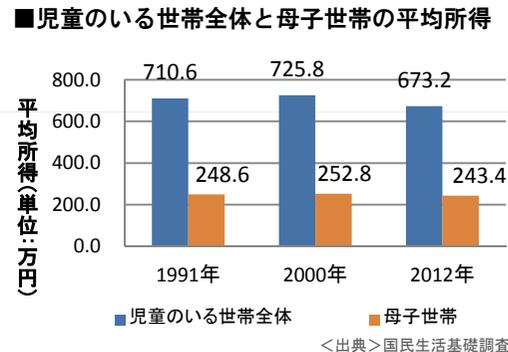
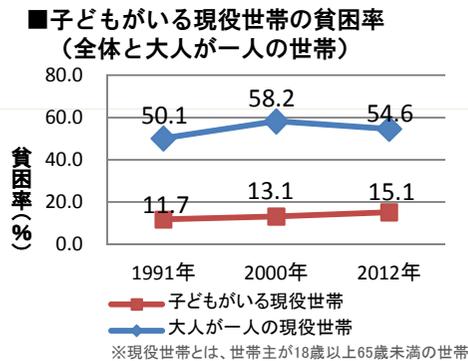
目的と背景

○子どもたちの将来が、その生まれ育った環境によって左右されず、また、貧困が世代を超えて連鎖することにならないよう、特に厳しい環境に置かれたひとり親家庭等の子どもたちへの支援策の抜本強化を図ることが喫緊の課題となっています！

ひとり親家庭や児童養護施設等の子どもたちが置かれた厳しい環境

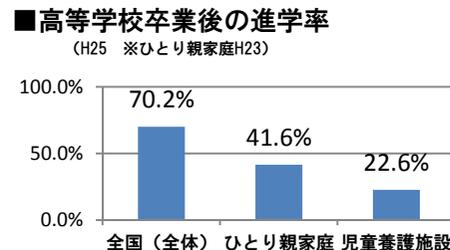
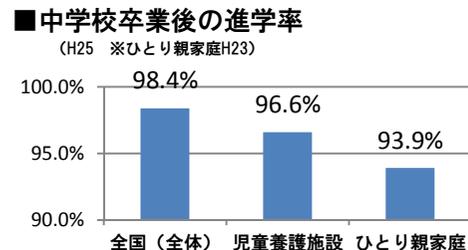
1 ひとり親家庭の現状

- ① ひとり親家庭の貧困率は子どもがいる現役世帯全体の貧困率の約4倍！
- ② 母子世帯の平均所得は児童のいる世帯全体の4割以下！
- ③ 就労している母子世帯で役立つ資格（H23年の全国母子世帯調査）
「作業療法士」、「准看護師」、「介護福祉士」、「看護師」



2 ひとり親家庭・児童養護施設等の子どもたちの進学状況

- ① 中学校を卒業した子どもの進学率：全体 98.4% 児童養護施設 96.6% ひとり親家庭 93.9%
- ② 高等学校を卒業した子どもの進学率：全体 70.2% 児童養護施設 22.6% ひとり親家庭 41.6%



<出典> 全国(全体): 学校基本調査、児童養護施設: 厚労省家庭福祉課調査、ひとり親家庭: 全国母子世帯等調査

政策提言の具体的内容

1 ひとり親家庭を取り巻く厳しい経済環境の改善に向けて、非正規から正規雇用への就労形態の転換を促進するなど各種支援策の拡充・強化を図ること。

- ① ひとり親家庭の親や子の職業訓練や資格取得等への支援策の拡充
- ② ひとり親家庭の親を正規雇用する事業所への助成金の拡充と税制優遇措置の創設

2 児童養護施設等の子どもたちが、自立した社会人としてスムーズに社会生活をスタートできるよう、きめ細かな支援策の充実・強化を図ること。

- ① 家庭的な環境の中で養育に取り組む地域小規模児童養護施設等の充実
- ② 児童養護施設等への自立・学習支援を専門に担当する職員の配置

3 経済的な理由により進学を諦めることのないよう教育の機会均等を確保するための支援策の拡充・強化を図ること。

- 給付型奨学金の創設と無利子貸与奨学金の拡充